

平成25年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成24年11月6日

上場取引所 大

上場会社名 スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社

コード番号 2712 URL <http://www.starbucks.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役最高経営責任者(CEO)

(氏名) 関根 純

問合せ先責任者(役職名) 人事・管理統括オフィサー

(氏名) 荻野 博夫

TEL 03-5412-7481

四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	57,714	8.5	5,734	13.7	5,829	12.9	3,218	13.8
24年3月期第2四半期	53,175	3.5	5,044	12.8	5,161	12.4	2,827	848.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	2,238.75	2,232.11
24年3月期第2四半期	1,972.09	1,964.85

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	59,097	39,456	66.8	27,431.65
24年3月期	57,894	37,111	64.1	25,848.48

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 39,456百万円 24年3月期 37,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期		0.00		600.00	600.00
25年3月期		0.00			
25年3月期(予想)				800.00	800.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113,400	5.2	8,700	11.6	8,750	8.6	4,600	19.6	3,198.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	1,438,350 株	24年3月期	1,435,719 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

25年3月期2Q		24年3月期	
----------	--	--------	--

期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	1,437,632 株	24年3月期2Q	1,433,655 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点におきまして、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成24年5月10日に公表いたしました業績予想は、本資料において修正しておりません。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を内包しております。したがって、個人消費の動向や経済環境などの諸要因の変化により、実際の業績等は記載内容と異なる可能性があることを予めご承知おきください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、企業の設備投資の増加や震災からの復興需要等により、概ね緩やかな持ち直しの基調にありました。

しかし、欧州債務問題の動向や将来的な消費税率引き上げによる消費マインドの低下懸念など、景気の先行きにつきましては未だ不透明感が払拭できていない状況であります。

このような状況の下、当社は次のような事業展開を行いました。

当社の強み及び特長であります「最高のコーヒー」「くつろげる空間」「パートナーによる魅力的なサービス」を生かした「サードプレイス(お客様の職場と家庭との間にあって、いつでも安心してくつろげる第三の場所)」の提供を一層強化し、ブランドの差別化に努めました。

新商品につきましては、ピバレッジでは「チョコレート クッキー クランブル フラペチーノ® with ホワイトチョコレート プディング」「ソイ ストロベリー クリーム フラペチーノ®」「クランチャー キャラメル フラペチーノ®」などが、フードでは「グレインブレッド バジルチキン&シーザーサラダ」「ラントプロート クロックマダム」「バナナクリームパイ」などがご好評いただきました。

店舗展開につきましては、都会で自然の心地よさを感じることができる「東急プラザ 表参道原宿店」、都内初の公園内店舗となった「上野恩賜公園店」、青森県で初めてのドライブスルー店舗となった「八戸田向店」などを出店いたしました。21店舗の新規出店(うちライセンス1店舗)、11店舗の退店(いずれも直営店)を行った結果、当第2四半期累計期間末における店舗数は965店舗(うちライセンス40店舗)となりました。

なお、9月には、エスプレッソドリンクへのこだわりや世界観を表現したスターバックス初のポップアップストア「Starbucks Espresso Journey(スターバックス エスプレッソ ジャーニー)」を期間限定でオープンし、多くのお客様にご来場いただきました。

また、東日本大震災の復興支援を目的とした特別なスターバックス カード「スターバックス カード ハミングバード」(発行期間は平成24年9月3日から同年10月31日まで)を通じて、お客様とスターバックスが一緒になって取り組める寄附プログラムを、平成24年12月25日まで実施いたします。このカードを通じた売上の一部とお預かりした寄附金を震災遺児の高等教育進学を支援する公益財団法人「みちのく未来基金」に寄附させていただきます。

以上の活動の結果、売上高は57,714百万円(前年同期比8.5%増)となりました。取引件数が順調に推移した結果、既存店売上高は対前年同期比102.9%となりました。また、継続的な新規出店により全体でも増収となりました。

月別の既存店対前年同期比は以下のとおりであります。

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期累計
既存店 対前年同期比	売上高	106.8%	102.0%	103.2%	99.0%	102.0%	104.4%	102.9%
	取引件数	106.1%	102.8%	103.1%	100.2%	102.5%	104.3%	103.2%
	客単価	100.7%	99.2%	100.1%	98.8%	99.5%	100.2%	99.8%

売上総利益は42,976百万円(同8.3%増)と、前年同四半期累計期間に比べて3,309百万円の増益となり、売上総利益率は74.5%(同0.1ポイント減)となりました。これは売上原価に関しまして、原材料の価格高騰による原価率の上昇等によるものであります。

営業利益は5,734百万円(同13.7%増)と、前年同四半期累計期間に比べて690百万円の増益となりました。これは売上総利益の増加に加え、販売費及び一般管理費率が64.5%(同0.6ポイント減)となったことによるものであります。

経常利益は5,829百万円(同12.9%増)と、前年同四半期累計期間に比べて668百万円の増益、四半期純利益は3,218百万円(同13.8%増)と、前年同四半期累計期間に比べて391百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて1,203百万円増加して59,097百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べて326百万円増加いたしました。

固定資産は、前事業年度末に比べて876百万円増加いたしました。これは、主に新規出店及び既存店の改装のための投資により有形固定資産が471百万円増加したことによるものであります。

流動負債及び固定負債は、前事業年度末に比べて1,142百万円減少いたしました。これは、主に未払金や法人税等の支払いに伴う減少によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて476百万円減少し、14,325百万円となりました。

営業活動による資金の増加は、3,680百万円(前年同期差2,118百万円減)となりました。これは、主に法人税等の支払いが1,621百万円増加したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、3,337百万円(同859百万円増)となりました。これは、主に新規出店及び既存店の改装を主目的とする有形固定資産の取得による支出が712百万円増加したことによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、819百万円(同31百万円増)となりました。これは、主に期末配当金が1株につき500円から600円へと100円増加したことによるものであります。

(3)業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月10日発表の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用)

税金費用につきましては、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産につきまして、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は、それぞれ57百万円増加しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,801	14,325
売掛金	3,698	4,097
商品及び製品	662	900
原材料及び貯蔵品	1,539	1,597
その他	4,055	4,165
貸倒引当金	29	32
流動資産合計	24,727	25,053
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,041	8,068
その他(純額)	3,908	4,353
有形固定資産合計	11,950	12,421
無形固定資産		
	1,018	1,015
投資その他の資産		
差入保証金	16,508	16,912
その他	3,782	3,788
貸倒引当金	92	93
投資その他の資産合計	20,198	20,607
固定資産合計	33,167	34,044
資産合計	57,894	59,097
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,645	2,411
短期借入金	200	200
1年内返済予定の長期借入金	61	48
未払法人税等	2,884	2,448
賞与引当金	-	341
その他	10,981	10,108
流動負債合計	16,772	15,557
固定負債		
長期借入金	40	20
役員退職慰労引当金	22	23
資産除去債務	3,925	3,982
その他	22	58
固定負債合計	4,010	4,084
負債合計	20,783	19,641

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,471	8,506
資本剰余金	11,047	11,082
利益剰余金	17,574	19,931
株主資本合計	37,093	39,520
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	18	63
評価・換算差額等合計	18	63
純資産合計	37,111	39,456
負債純資産合計	57,894	59,097

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	53,175	57,714
売上原価	13,507	14,737
売上総利益	39,667	42,976
販売費及び一般管理費	34,622	37,242
営業利益	5,044	5,734
営業外収益		
受取利息	2	6
為替差益	33	26
プリペイドカード失効益	65	19
その他	43	49
営業外収益合計	144	101
営業外費用		
支払利息	2	1
支払補償費	-	3
その他	25	2
営業外費用合計	27	7
経常利益	5,161	5,829
特別利益		
店舗閉鎖損失戻入益	5	6
退移店補償金	39	-
震災関連費用引当金戻入益	17	-
その他	3	-
特別利益合計	64	6
特別損失		
減損損失	152	111
固定資産除却損	20	88
本社移転費用	-	133
その他	23	4
特別損失合計	196	338
税引前四半期純利益	5,029	5,497
法人税等	2,202	2,278
四半期純利益	2,827	3,218

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	5,029	5,497
減価償却費	1,870	2,041
減損損失	152	111
引当金の増減額(は減少)	358	346
受取利息及び受取配当金	2	6
支払利息	2	1
為替差損益(は益)	6	2
固定資産除却損	36	91
店舗閉鎖損失戻入益	5	6
本社移転費用	-	133
売上債権の増減額(は増加)	460	398
たな卸資産の増減額(は増加)	202	295
仕入債務の増減額(は減少)	64	234
その他	37	705
小計	7,075	6,573
利息及び配当金の受取額	2	6
利息の支払額	2	1
発行保証金の金銭信託による増減額(は増加)	200	200
法人税等の支払額	1,077	2,698
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,798	3,680
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	2,085	2,798
無形固定資産の取得による支出	144	258
資産除去債務の履行による支出	19	39
差入保証金の差入による支出	448	697
差入保証金の回収による収入	236	462
その他	16	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,477	3,337
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	82	33
株式の発行による収入	7	70
配当金の支払額	712	856
財務活動によるキャッシュ・フロー	787	819
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,533	476
現金及び現金同等物の期首残高	9,427	14,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,961	14,325

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(販売実績)

当第2四半期累計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	当第2四半期累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日		
	売上高(百万円)	売上構成比(%)	前年同期比(%)
店舗販売			
ピバレッジ	44,585	77.2	109.6
フード	8,250	14.3	106.7
コーヒー豆	1,894	3.3	99.3
コーヒー器具等	1,716	3.0	99.7
店舗販売計	56,446	97.8	108.5
その他	1,267	2.2	112.3
合計	57,714	100.0	108.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。